

和歌山スキー協通信

2009. 10. 3 (09-10 NO. 2)

関西ブロック学習交流会

9/5(土)・6(日)の両日、残暑厳しい京都に関西各府県から熱いメンバーが集まり、スキー協関西ブロック学習交流会が開かれました。

和歌山からは、小林・崎山(きのくに)、賀城・辻本・石倉(シュカブラ)、中岡(すべりや)の6名が参加し、学習と交流を深めてきました。石倉君はまたメル友の輪を広げたようです。

参加者のみなさんの、力の入った報告・感想を紹介します。



「第1講義 報告」

シュカブラ SC 辻本美保

第1講義は「東京スキー協の発展について」東京スキー協理事長で、ホヤホヤの上級指導員でデモで、新DVDで転倒シーンを見せてくれている小川洋氏よりの講義でした。講義というよりは、小川さんと東京スキー協という題で話が進んでいった様子にも思いますが、小川さんは7年上級指導員を受け続け今年受かり、技術を向上させる為に、自信を持つ為に、ずっと初級指導員から今に至るまで受け続けたということです。車の免許を持たない小川さんは仲間の

協力がなければ無理だったし、励ましが無ければ無理だったと思うとのことでした。

東京のクラブ数は43クラブ、昔は職域を中心に活動するクラブが多かったが、今は、地域を中心に活動するクラブが断然多く28クラブとのこと。退職・定年退職などで職域は繋がりが難しくなっていくとのことで、減ったのでないかと分析していた。東京スキー協は競技をする人数は多いのだが、競技を中心に活動するクラブは無い。桶谷さんが東京スキー協に在籍することになり、これからは分からないが……。その次に多いのが友人・知人が集まって活動する7クラブとのこと。インターネットで集まってきた人達は、ブログなどで自分の自慢を競い合っているとのこと。

クラブは、50人以上になるとある中心人物や地域ごとに小分けするようにしている。

会員数は745名で会員証を発行しており、宿舍・ショップなどで特典を随時増やしていつている。しかし指導員は、上級5名(動いているのは長尾・小川・桶谷(これから))で中級20名初級約130名という状態なので指導員向上をしていかないといけない。総務局長、組織局長は仕事をしながら大変な役割を一手にしており、家にいる時間が無い状態であるとのこと、組織役割はもっと改善していかないといけないと思う。

常任理事会、二役会は毎月決まった日に必ず行っている。各クラブの総会には二役・三役が挨拶に行きスキー協を身近に感じるように話しているとのこと。スキー協通信は編集部員が

5～6名で行っている。山スキー・競技共に初心者の人が入りやすい行事はスキー協で行っている。

感想・意見とすると、会員証特典はいいなあと関西人ならみんなが思っていました。競技をされている人がすごく多いのですが、クラブで取り組んでいるのではなく、楽しみで個人にしているのもびっくりしました。そして、なによりびっくりしたのは、小川さんのスーツ姿でした。今までラフな恰好でしかお会いしたことなかったので、スーツ姿って普通かっよく見えるのですが、いつもどおりの小川さんでズングリムックリ（内緒）でした。

（第2講義の石倉大実氏のベーシック技術とコーチングを聞いて、すごい！ここまでスキーを理解し、分析している人がいるんだと思い感激しました。今までの疑問だったところが繋がった、纏まった、やっぱりという気持ちです。配られた資料を目にされていない方は、行かれた方に資料のコピーを頂いた方がいいと思います。今までの基本を纏めているだけなのですが、自分の知識の中で洩れていた所、自分がいつも注意しなければいけないところが纏められているので、一つも洩れてはいけないことがかかっているのでは洩れている箇所があった方は、習得したほうがいいです。）

「第2講義 報告」

きのくにSC 小林正知

第2講義は元全日本ナショナルチーム・プロレーサーの石倉大実氏による「ベーシック技術とコーチング」でした。スキーの第一線でがんばっている人の話だけに、わかりやすくなる内容でした。

まずはじめに指導理念としてあげられた、身体の一部だけに目をむけた「矯正法」ではな

く全体の流れに目をむけ、正しい運動を正確に行うための指導方法で、それは全体の運動の流れを理解してもらうことにもなり、個人の個性を尊重した指導法だという点が胸に落ちました。

講師は競技の指導をやっている点で、ゲレンデだけの滑りの私には解らないこともありましたが、指導していく上で示唆に富んだ話も多くありました。

自然体と「猫背」の関係やその弊害、「視線」の大切さ、肩に力が入ると下半身にも影響してうまく滑れないことや、その矯正法として、手をぶらぶらさせることで克服できる話は参考になりました。

競技の中で「完走すること」を第一義に考えている人が多いが、さらなるレベルアップには、新しい技術に挑戦し、失敗を繰り返すことで更なる峰に到達できるとの指摘はスキーだけでなく人生にも当てはなることで「失敗は成功のもと」ということわざもありますが、チャレンジしていく大切さを、いまさらながら教えられました。

基礎理論や原理原則等多くのことを学びました。実際の指導に生かしていけるように、よく考えながらやっていきたいと思います。



「関西ブロック学習交流会に参加して」

きのくにSC 崎山善久

清水寺の近くの「ホテルグラン京都清水」で開催された「関ブロ学習会」に初めて参加しました。

小川氏は、東京スキー協の現勢、組織体制、主催行事、組織運営、会員拡大等について話をされました。会員拡大では、『うちのクラブに加入すれば楽しくうまくなれる』と組織拡大に踏み出せることが大切』と話されたことが心に残っています。

石倉氏の講義は、詳しいレジュメに沿った内容で興味深く聞きました。簡単には理解できませんが、レジュメを何度も読み返し、スキー技術向上に役立てたいと思います。

2日目は滋賀スキー協の報告を聞き、新作ビデオ「ターンの質を高める」を観てから分科会に入りました。私は技術・指導分科会グループ3へ参加しました。参加者の多くは初・中・上級指導員で、スキー技術や指導論について熱く語るばかりでした。討論の中で印象に残ったことは、「滑るとき頭の高さが変わらない」「谷へ落としていく」「足裏切り替えは低い姿勢で」「スキー板を中心に自分の体をどう動かすか」「ベストポジションを探す」「雪面の状況（雪質、斜度など）で滑りを変える（前傾、後傾、エッジング、ずらしなどで）。」です。たくさんの熱気もらった2日間でした。



「関西ブロック学習交流会に参加して」

シュカブラ SC 賀城博美

久々に関西スキー協の皆さんとふれあい、講義を受け、「スキーがしたい、滑りたい」と実感した研修会でした。

組織の講座は東京スキー協の歴史や活動についてのお話でした。会員 745 人、クラブ数

45 と、和歌山と比べられない規模で、いろんな特徴のクラブがあるそうです。会議もしっかりやっていて、組織がしっかりしています。やっぱり事務所が必要だと思いました。いつ何時でも会議や打ち合わせができるということです。

技術の講座はポールを中心とした内容でした。大半の人はポールへ入っていく位置が高いそうです。もっと直線的に入っていくほうがタイムがよくなるそうです。

分科会は「技術」のグループに出席しました。前日の昼食時に崎山氏から「なんで『真下への横滑り』があるのか」と聞かれていたのでそのことを質問したら議題に取り上げてくれ、40分も論じ合いました。結論は、いろんな回転の要素が含まれているからということでした。

あとは、新作の教程解説 DVD（「ターンの質を高める」）を今シーズンの滑りにどう活かすかを話し合いました。



「ちょっとしんどかった『競技』分科会」

すべりや S.C. 中岡 大

「競技」の分科会に出席しましたが、今年のこの分科会は、「学習」というよりは初めから終わりまで「会議」でした。というのも、先シーズンに引き続き全国競技大会を関西ブロックが主管することになっているからです。和歌山も関西の一員としてそれ相当の役割を果たしたいとは思いますが……。

会員のみなさん、よろしくお願いします。



09 - 10シーズン 主な行事予定

(太字は県スキー協主催行事)

2009年

- 10/24 (土)・25 (日) 全国リーダー学習会
12/5 (土)・6 (日) 中央研修会
12/5 (土) **県スキー協技術部会**
12/18 (金)～20 (日) 関西ブロックレベルアップ研修 (志賀高原)
12/30 (水)～1/3 (日) **クラブ合同スキー (黒姫)**

2010年

- 1/24 (日) **おじろ1Dayスキー** (雪不足の場合、1/31)
2/6 (土)・7 (日) 関西ブロック競技大会 (よませ)
2/13 (土)・14 (日) スキー協CUP (よませ)
2/20 (土)・21 (日) **体育同志会との交流スキー**
3/6 (土)・7 (日) 全国競技大会 (戸狩)
4/2 (金)～4 (日) 関西ブロック指導員認定会
関西ブロックレベルアップ研修 (志賀高原) ※和歌山主管

大阪スキー協40周年

9/12(土)、弁天町のホテル大阪ベイトワ
ーで「大阪スキー協創立40周年記念レセプ
ション」が開催され、和歌山スキー協から中岡
が出席させていただきました。

大阪スキー協には、和歌山スキー協の草創
期から指導員養成や研修などでお世話にな
り、それによって和歌山スキー協の基礎が築
かれてきたと、神谷会長に伺いました。

大阪スキー協のますますの発展を願うと
ともに、和歌山もまもなく迎える40周年にむ
け、組織・技術の両面でさらにレベルアップを
目指したいと決意し、会場を後にしました。

教程DVDで、みんなでイメトレ!

シーズンはじめの県スキー協技術部会を
下記のとおり開催します。教程DVDや新作の
教程解説DVDをみんなで見て理解を深め、
イメージトレーニングをしましょう!(プロジ
ェクターを使い、大きな画面で視聴します。)
どなたでも参加できます。お誘いあわせの上
ご参加ください。

(指導員および指導員候補のみなさんは、万
難を配してご出席ください。)

日時 09年12月5日(土)
午後1時30分～3時ごろ?
場所 伊都教育会館
(橋本市野181-1)

発行責任 中岡 大

648-0003 橋本市隅田町山内 1017 TEL 0736-36-8452 FAX 0736-36-1358

E-mail dai-n@f2.dion.ne.jp